



PEACE 派遣留学報告書

		記入日	2017年12月 4日
氏 名	かすう ひろやす 嘉数 浩靖		
所属学部・研究科	工学研究科博士前期課程	1	年次 (留学開始時点)
学 生 番 号	M172670		
留 学 先 大 学	交通運輸	大学	(国名:ベトナム)
所属学部・学科等名	土木学科, 地盤研究室		
在 籍 身 分	交換留学生		
留 学 期 間	2017年9月4日~ 2017年11月30日		

1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	同じ学科の先生に交換留学のプログラムの話聞いて、推薦されたのがきっかけ。また、もともと、海外で生活する経験を持ちたいと思っていたので、行こうと思った。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	2, 3か月前から必要なものや手続きを始めました。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	パスポートやビザの申請、スーツケース、圧縮袋、薬、コンタクトなどの必需品の購入 予防接種は効果が出るまで時間がかかるので、早めにするべき

2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: 就労ビザ
	ビザ申請先: 在大阪ベトナム社会主義共和国総領事館
	提出書類: 申請書, パスポート
	手続きに要した日数: 7日間
その他必要な事前手続き	特になし。
出国年月日	2017年9月4日
経路 (往路)	広島空港→羽田空港→ノイバイ国際空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	特になし
帰国年月日	2017年11月30日

経路（復路）	ノイバイ国際空港→羽田空港→広島空港
--------	--------------------

3. 留学費用について

支出額	総額	219,000	円	
	内訳	渡航費（航空券）	0	円（広島大学負担）
		保険料	28,000	円
		教科書代（学費）	0	円
		宿舍費	0	円（広島大学負担）
		光熱費	7,000	円
		食費	120,000	円
		交通費（宿舍→大学間）	0	円
		交際費	12,000	円
		その他（学会申し込み費） （生活雑費） （観光、お土産費）	12,000 30,000 20,000	円 円 円

4. 授業について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	地盤工学（大学院生向け）
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	前期にできるだけ単位をとる。

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約25㎡	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有（ 人） <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり 大学負担（UTC）	（現地通貨）	約 円
留学先での住居全般に関するアドバイス			
(2) 医療について			
留学先でかかった病気、けが	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

有の場合、具体的な症状等（情報共有しても差し支えなければ）	ひどい下痢 一日5、6回トイレにいきました。
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	<A型肝炎>2回接種 合計費用12,000 <破傷風>1回接種 合計費用3,000
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：
留学先国の医療事情（日本と比較して）	外国人向けの病院（Family Medical Practice）があり、受付には日本人スタッフが駐在。医師はヨーロッパ、アメリカ系の人で英語でのやり取り。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	ローカルの食べ物は無理して食べない、何も無い時でも整腸剤を服用していました。
(3) 食生活についてのアドバイス	
UTCの近くには日本食がたくさんある通りがあり、ベトナム料理に飽き足り、どうしても口に合わないときはそこで食べるすることができます。	
(4) 服装についてのアドバイス	
蚊を媒介とした病気が流行っているので、できれば長ズボン、長そでが好ましい。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
学内では基本的に充実しているが、寮の中になかったのが不便でした。 学外では基本的にカフェに行けば無料でインターネットが使用できます。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
友達の自宅に招かれてパーティーがあったり、ご飯を食べにいたりしました。また、国際学会で知り合った人とサッカーもしました。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
自分の主張をためらうことなくすること。言ったらわかってくれます。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	

<持っていくべきも>コンタクト液、薬
 <持っていくべきでないもの>だいたい買うことができます。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

タクシーは grab などといったアプリを使用するほうがぼったくりなどのトラブルがなくいいです。
 ローカルの店に行くとレジや値段表示がないため、口頭でやりとりするしかないため、Vinmart のようなレジがある店で
 買いものするほうがいいです。キャッシング機能のついたクレジットカードが用意できたら好ましく、どこでも現地の通
 貨で現金を引き出すことができます。

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2019年3月 (当初の卒業予定年月 年 月)
卒業が遅れる見込みの 場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後 の予定・進路等	建設会社への就職
就職活動や留学前の単 位取得、教育実習等に ついての工夫	

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
地球の歩き方	ダイヤモンド社	大使館、現地の警察、救急車の情報有

8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

3か月間海外で生活して、いろいろなことを感じました。価値観や人生観も多種多様で、今まで考えもしないことや
 気に留めなかったことも多くありました。日本から留学するとほとんどの場合、生活水準が低い国に行くことになりま
 す。不便さに目を向ければきりがありませんが、その分多くのことを学ぶことができましたし、貴重な経験になりました。

後輩へのメッセージ：

なかなか海外に行くのは勇気のいることですが、いざ行ってみると一気に生活が変わり、関わる人も変わります。見
 えるもの、感じるものも新鮮で本当にいい経験になると思うので、チャンスがあればぜひ行ってみたいと思います。

9. 自由記述 (1200 字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

<学習に関すること>

僕の場合は、共同研究という名目で行ったので、地盤関係の研究チームに混ざって実験をしました。日本と比べると設備環境は良くないですが、みんなで目標をもって楽しく研究しました。広大には実験をするための実験室のほかにも普段勉強をしたり、データをまとめたりする学生のための実験室がありますが、UTCにはなく、学生は家でデータ整理などの作業をしなければなりません。実験装置はUTCにすべてあるわけではなかったため、他の大学にサンプルをもって行って実験もしました。地盤関係の授業を受けていましたが、大学院過程の授業は基本的にベトナム語での開講でした。いちをレポートを提出することで単位はもらうことができました。また、現場調査にもいきました。地学の勉強や水力発電の見学をしました。国際学会がハノイで開かれており、二つの学会に出席しました。環境問題や鉱山調査についての学会で、最終日にはスタディツアーが組み込まれており、世界遺産や鉱山施設の見学に行くことができました。

<生活に関すること>

寮は一人部屋で結構広く、ベッドは少し固めで、インターネットはありませんでした。インターネットを使用したいときは近くのカフェに行って、パソコンを使用していました。日本ではコーヒ一杯であまり長居するのはよくありませんが、ベトナムでは平気です。また、携帯はベトナム渡航前にsimロックを解除しておいたので、ベトナムのキャリアのsimカードを購入して現地で不自由なく使用できました。Mobifoneという会社のもので、高速回線が2GB/日で一か月1000円ほどでした。トイレにウォシュレットがないため、日本から携帯ウォシュレットと持っていきました。気候は気温も高いですが、蒸し暑いのでタオルを多めに持って行ったほうが良いと思います。フルーツポンチのようなものを食べてお腹が痛くなり、一週間ほど下痢が続いたので、気を付けたほうが良いと思います。ただ、暴飲暴食に気を付ければ、ベトナム料理をおいしく食べることができると思います。UTCの近くには日本大使館もあるせいか日本食の料理店がたくさん並んでいます。少し割高ですが、日本食が恋しくなったときはよく行ってました。買い物も大きなデパートのようなところがあり、大体のものを買うことができます。ローカルのところでお菓子屋や飲み物も買えますが、英語が通じず、また値段表示もないため、口頭でのやり取りになります。日本人はよくぼったくりの被害にあっていますし、自分も最初少しですがぼったくりにあったので、ベトナム人の友人と一緒にいったほうが良いと思います。ベトナム人はとてもやさしく面倒見のいいひとがたくさんいるので、自分だけで解決しようとせず、いろんな人に相談してみる事が一番大事だと思います。



ニンビン (世界遺産)



水力発電



国際学会